田村市過疎地域持続的発展計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

| No | 区分 | 掲載ページ | 意見欄 | 担当課 | 市の回答及び対応（案） | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2　移住・定住・地域間交流の促進、人材育成<br>（2）その対策<br>②地域間交流の促進 | 9 | ふるさと会という組織に頼るだけでなく、個人でも交流を図っている人を支援し誘客につなげる必要があるのではないでしょう。 | 観光交流課 | 「地域固有の歴史や文化、自然を活かした体験プログラムやイベントを開催し交流人口の拡大を図り、市内の魅力ある観光施設や人物、農産物等の特産品などを積極的に発信し、国内外からの誘客を図ります。」の文章には、個人で交流を図っている方も含まれ、イベント等の周知を通じて情報発信などの支援を行ってまいります。 | 無 |
| 2 | 3　産業の振興<br>（2）その対策<br>⑥商業 | 13 | 現状、生活している人はどこかで生活必需品を購入しているわけで、無理なく買えるようなまちづくりが市民のニーズに合っているかどうかをまず検討する必要があるのでないでしょうか。<br>空き店舗は新たな需要の創出のために活用し、従来の枠にとらわれないダイナミックな対策をしていかないと、全国にある空き店舗の中から選ばれる空き店舗にはならない時代になってきています。<br>地域の需要を賄う必要がなくなったから空き店舗になっている事が多いと思いますし、市域が広い田村市で多くの市民の身近な場所に空き店舗はないのではないでしょうか。<br>身近の定義が定かではありませんが、公共交通や物流を正しく理解して利用すればそれほど不便ではないかと思います。また、新たな手法として日常生活必需品のドローン宅配など、人口減少社会に対応した買い物弱者対策の検討が必要ではないでしょうか。 | 商工課 | 各種アンケート調査、高齢化の進行や公共交通機関の運行状況などから、買い物に不便を感じている方が一定数いるため、市民ニーズがあると認識しております。<br>一方、「身近な場所で無理なく買えるような商業まちづくり」を対策で掲げておりましたが、食料品等の宅配サービスや移動販売を行う事業者に対し補助を行っていることを踏まえ、以下のとおり修正します。<br>また、ドローン宅配は有効な選択肢の一つと考えておりますので、安全性、制度面及び経済性の課題や実用性について検証を行ってまいります。<br>空き店舗になっているものの中には、地域の需要があるにも関わらず後継者問題などの理由により、閉店せざるを得なかった状況などもあり、実態把握に努めながら地域の需要に合致した支援をしてまいります。<br><br>（修正内容）<br>「日常生活必需品の入手が困難にならないよう 、空き店舗対策や買い物弱者対策を行います。」 | 有 |
| 3 | 4　地域における情報化<br>（2）その対策<br>①電気通信施設 | 16 | 現状でも携帯電話が利用できない地区が残っていますが、実態の把握はどのように行っているのでしょうか　市が調査をしているというのを聞いたことがありません。 | 企画調整課 | 本計画に基づき、実態調査の実施を予定しております。 | 無 |
| 4 | 5　交通施設の整備、交通手段の確保<br>（1）現況と問題点<br>①道路 | 17 | 「①道路」に磐越自動車道も含めてのもよいのではないでしょうか。<br>「また、これまで整備してきた道路や橋梁などの老朽化により、～」とあるので、橋梁の数やトンネルの数など路線数以外にも今後修繕が必要となってくる施設があることを数値で明示した方が良いのではないでしょうか。 | 建設課<br>農林課 | 「磐越自動車道」も市内道路網において、重要な路線でありますので追加します。<br>道路等のインフラ劣化対策は必須でありますので、橋梁数、トンネル数を明記します。 | 有 |
| 5 | 5　交通施設の整備、交通手段の確保<br>（2）その対策<br>①道路 | 17 | ◆ 通勤・通学など市民生活に欠かすことのできない幹線道路や生活道路を整備します。<br>◆ 市内観光地を結ぶ道路を整備します。<br>◆ 農業、林業など作業効率化、コスト縮減を図るため農林道を整備します。<br>上記3点について、人口が減少し過疎化が進む地域における道路整備は、整備効果の高い区間に限定した整備にしておかないと将来の維持管理コストが膨張すると思います。 | 建設課<br>農林課 | 道路の整備効果や維持管理コストなどを考慮しながら整備を進めてまいります。 | 無 |
| 6 | 5　交通施設の整備、交通手段の確保<br>（2）その対策<br>①道路 | 17 | 近距離で隣接する橋梁や利用頻度の少ない橋梁は減らすことの検討を盛り込む時期になっているのではないでしょうか。 | 建設課 | 橋梁の利用状況や迂回路等の周辺環境等を踏まえ、集約化や撤去を図ってまいります。<br><br>（修正内容）<br>「長寿命化を見据えた道路・橋梁補修の実施及び橋梁の集約・撤去を図ります。」 | 有 |

田村市過疎地域持続的発展計画（案）パブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

| No | 区分 | 掲載ページ | 意見欄 | 担当課 | 市の回答及び対応（案） | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 6　生活環境の整備<br>（1）現況と問題点<br>⑥都市公園 | 19 | 「市内には計 12 カ所の都市公園が整備されており、交流や安らぎをもたらす市民の憩いの場となっていますが、一部で老朽化が進んでおり、計画的な整備が必要です。」と整備が繰り返されていますが、老朽化が進んでいることに対して計画的に行うことは整備ではなく修繕等維持管理ではないでしょうか。 | 都市計画課 | 修繕等の維持管理費に加え、改良や更新を含めた総合的な対応も想定して「整備」としています。 | 無 |
| 8 | 9　教育の振興<br>（2）その対策<br>①学校教育 | 28 | バスの運転士不足に対する懸念や、バス車両増大による維持管理コストが及ぼす財政的な影響の心配はありませんか。 | 教育総務課 | 運転手の確保を円滑に進めていくため、受託事業所と連携し、新たな運転手の育成支援などに協力するとともに、スクールバスの利用対象となる児童生徒の把握や運行路線の整理など、利用基準の見直しと車両の適正配置について検討してまいります。 | 無 |
| 9 | 11　地域文化の振興等<br>（2）その対策 | 31 | 住民が減り続ける中、後継者の育成という大義名分が若い世代に対する負担や押しつけになっている側面もあります。その地域で本当に残したいものなのかどうか取捨選択をしていかないと、住みにくい地域となってしまう可能性もあります。 | 生涯学習課 | 伝統文化は地域の誇りであり、未来へ繋ぐべき大切な財産と認識しています。ご指摘の通り、人口減少下での後継者育成が若い世代の負担となっている側面もありますので、必要な配慮をしながら、誰もが住みやすい地域づくりと伝統文化の保存承継の両立に努めてまいります。 | 無 |
| 10 | 計画全体 | 全体 | 全体を通して、事業計画（令和8年度～令和12年度）の表がありますが、5年間と長いので、期間のどのあたりで実施するのかが分かるように計画工程表も作成した方が良いと思います。また、それぞれの概算事業費や事業量など数値的な情報は必要ではないでしょうか。<br>これらの計画を多くの市民は知らないと思いますので、市民の理解を得ながら実施することで人口減少抑止に寄与することを望みます。 | 企画調整課 | 本計画は、過疎地域の持続的発展に向けた基本的方針や対策を示す指針として作成するものであるため、工程表や概算事業費等の数値的な情報は記載しておりません。<br>本計画に対する市民の理解が得られるよう周知に努めてまいります。 | 無 |